

はじめて
美術館に
いきます。

ソーシャル ストーリー
Social Story

よこはまびじゅつかん
横浜美術館



きょう よこはまびじゅつかん い ひ
今日は、横浜美術館へ 行く日です。

わたしは、このストーリーを読むことで

びじゅつかん びじゅつかん なか
美術館のこと、美術館の中で できることや 過ごし方について

し かんが
知り、考えることができます。

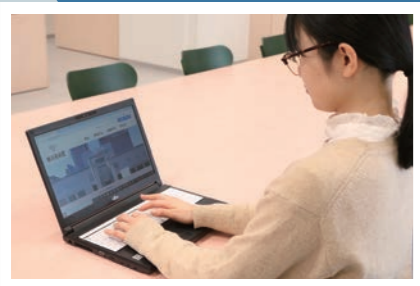
それでは、美術館へ 行きましょう！

しゅっぱつ

1

じゅんび
準備します

2~5 ページ



2

で
出かけます

6~11 ページ



3

てんじしつ
展示室に
はい まえ
入る前

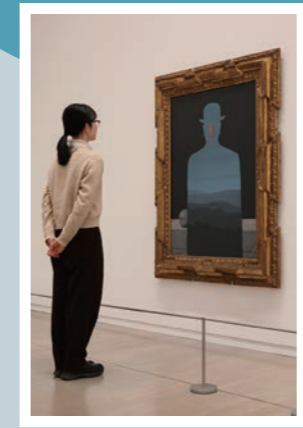
12~19 ページ



4

てんじしつ なか
展示室の中

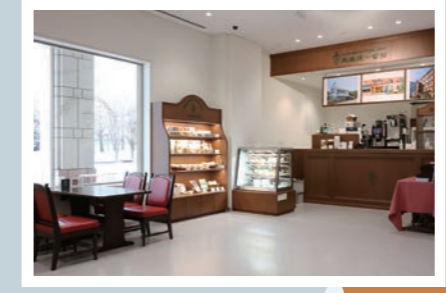
20~25 ページ



5

さまざまな
す かつ
過ごし方

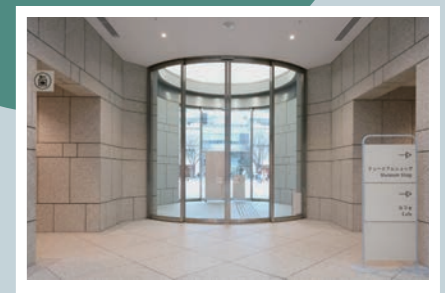
26~32 ページ



6

さいごに

33~34 ページ



でぐち



び じゅつかん
美術館って どんなところ？

よこはまびじゅつかん みぎ さくひん
横浜美術館には、右のような作品が あります。

にほん ほかに くに
日本や他の国でつくられた

やく ねんまえ よこはまかいこう げんざい え ちようこく
約 170 年前の横浜開港から 現在までの絵や彫刻などが、

やく まん てん
約 1 万 5000 点 あります。

なか
この中から

きせつ えら てんじ てん
季節やテーマごとに選んで 展示しています (コレクション展)。

きかん ほかに びじゅつかん さくひん か
また、ある期間だけ 他の美術館などから 作品を借りて

てんらんかい きかくてん
展覧会が おこなわれることもあります (企画展)。

わたしは、 びじゅつかん なかに てんじしつ さくひん み
わたしは、 美術館の中にある「展示室」で 作品を見ることができます。

3 ページにある 写真①から④の説明文です。

さくひん ひと さくひん なまえ さくひん とし
作品を つくった人 《 作品の名前 》 作品が つくられた年

じゆんばん か
という 順番で書かれています。

①ルネ・マグリット 《王様の美術館》1966 年

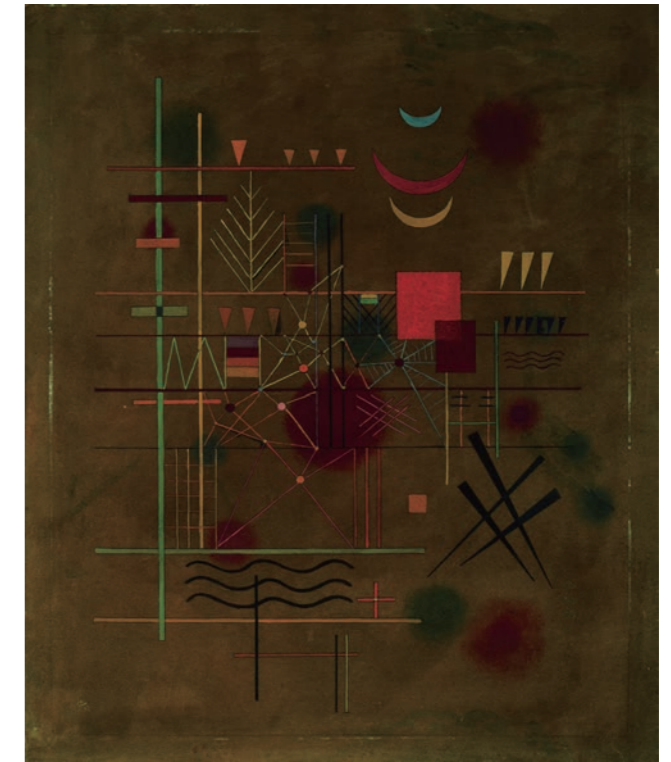
②ヴァシリー・カンディンスキー 《網の中の赤》1927 年

③コンスタンティン・ブランクーシ 《空間の鳥》1926 年 (1982 年の ちゆうぞう 铸造)

④片岡球子 《緑蔭》1939 年



①



②



③



④



び じゅつかん い まえ
美術館へ行く前に やること



び じゅつかん い まえ み
美術館へ行く前に、ウェブサイトを見ます。

ウェブサイトでは、

てんらんかい じょうほう し
展覧会やイベントなどの情報を 知ることができます。

い まえ ひら じかん やす ひ い かた しら
行く前に、開いている時間と お休みの日と 行き方を 調べます。

てんらんかい ゆうりょう ひつよう ばあい
展覧会やイベントは、有料のチケットが 必要な場合と

むりよう み ばあい かくにん
無料で見られる場合があるので、ウェブサイトを よく確認します。



よこはまびじゅつかん
横浜美術館の ウェブサイト (<https://yokohama.art.museum/>)

ウェブサイトを見ても わからないときや

かくにん
確認したいことが あるときは、

れんらくさき き
次の [連絡先] に 聞くことができます。



よこはまびじゅつかん
横浜美術館
ウェブサイト

れんらくさき
[連絡先]

でんわ
電話：045-221-0300

といあわ まどぐち
お問合せ窓口： <https://yokohama.art.museum/contact/>

じゅうしょ かながわけん よこはまし にしく
住所：〒220-0012 神奈川県 横浜市 西区

みなとみらい 3-4-1



といあわ まどぐち
お問合せ窓口ページ



えき びじゅつかん い かた
駅から美術館への 行き方

びじゅつかん よこはま
美術館は、横浜のみなとみらいに あります。

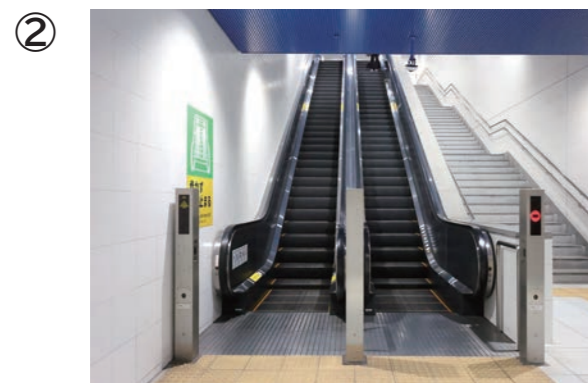
びじゅつかん い かた とお
美術館への行き方は、2通りです。

みなとみらい線のみなとみらい駅と

JR線と地下鉄の桜木町駅の どちらから 行きます。



① みなとみらい駅から行く場合は、
 北改札を出て
 「3番出口」に 向かいます。



② ひだりがわ
 左側にあるエスカレーターで
 地上まで上ります。



③ さんえー でぐち ちじょう で
3 a 出口から 地上に出ると
 ひだりがわ
左側に「マークイズみなとみらい」の
 いりぐち
入口があります。
 かいだん つか
階段かエレベーターを使って
 いりぐち い
入口まで行きます。



④ 「マークイズみなとみらい」のビル
 の
 いりぐち はい む がわ でぐち で
入口に入って 向かい側の出口から出
ます。



⑤ とお おお ひろば で
通りぬけると 大きな広場に出ます。
 しょうめん み たてもの
正面に見える建物が
 よこはまびじゅつかん
横浜美術館です。



①



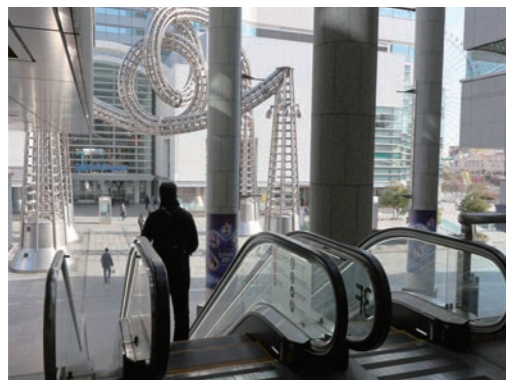
さくらぎちようえき い ばあい
桜木町駅から行く場合は、
かいさつ で
改札を 出て
よこはま
「横浜ランドマークタワー」に
む
向かいます。
うご ほど お の
「動く歩道」の終わりまで 乗ります。

②



よこはま いりぐち
「横浜ランドマークタワー」の入口が
あります。
なか はい みぎ む
ビルの中に入って 右に向かって
いちばん ある
一番おくまで 歩きます。

③



じどう で
自動ドアを出て エスカレーターを
くだ おお
下ると 大きくなるぐるした
ぎんいろ ちょうこく
銀色の彫刻が あります。

④



ちょうこく した ひだり ま
彫刻の下を左に曲がり
ある
まっすぐ歩きます。
はし ひだりがわ
橋をわたり 左側にあるのが
よこはまびじゅつかん
横浜美術館です。

びじゅつかん とうちやく
美術館に 到着！



ひろ ば よこ なが たてもん よこはまびじゅつかん
広場のおくにある 横に長い建物が 横浜美術館です。
びじゅつかん たか た
美術館のまわりには、高いビルが建っています。

びじゅつかんない
美術館内マップ



びじゅつかん たてものかいだ
美術館の建物は 8階建てです。

おもはいばしょかい
主に入る場所は ロビーフロア(2階)と3階です。

きいろむりょうはいばしょ
黄色でぬってあるところは、無料で入れる場所です。

あおいろひつようばしょ
青色でぬってあるところは チケットなどが必要な場所です。

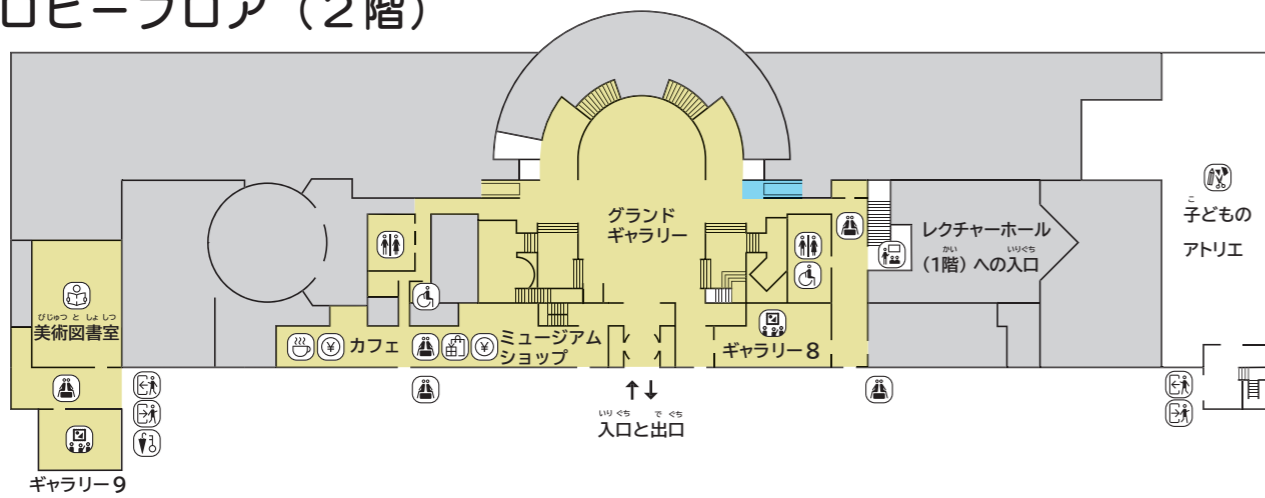


よこはまびじゅつかん てんじしつ
横浜美術館では、展示室のことを「ギャラリー」と呼びます。

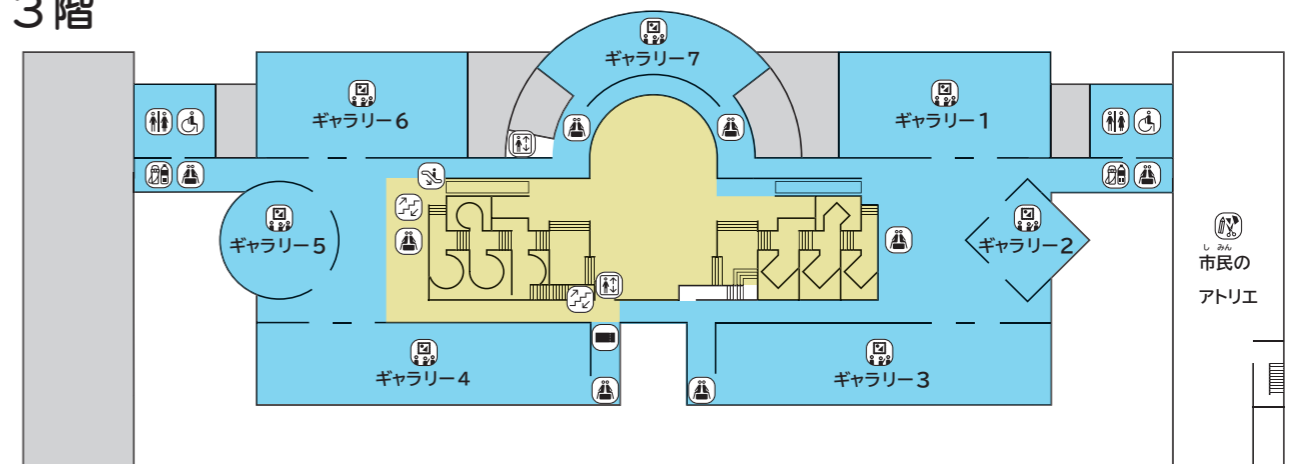


こしみん
「子どものアトリエ」と「市民のアトリエ」は、
プログラムに参加するときだけ入れます。

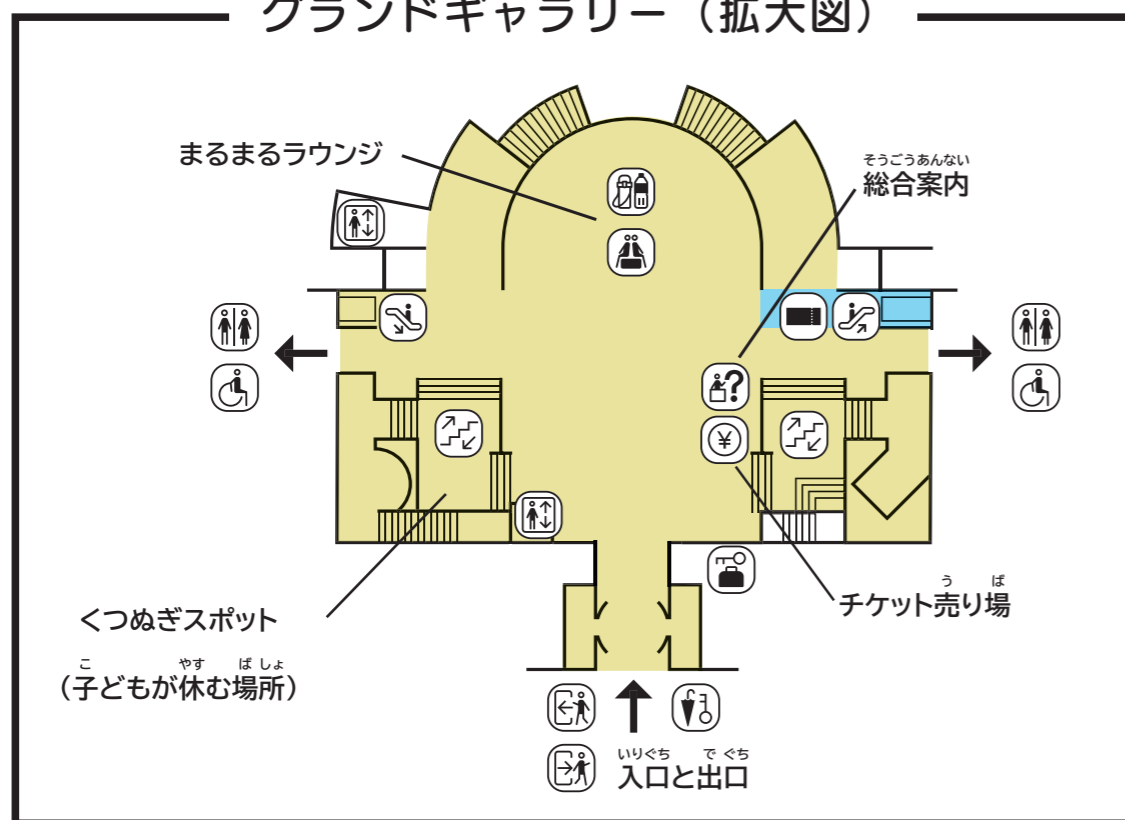
ロビーフロア(2階)



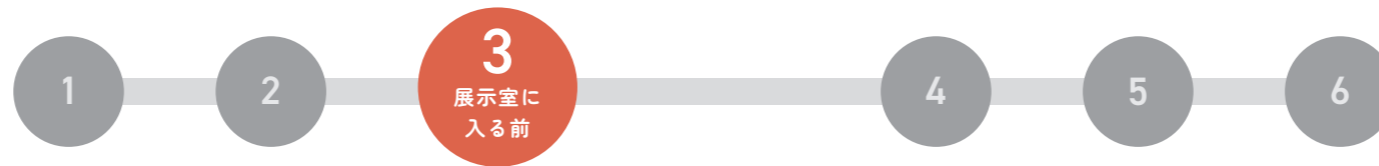
3階



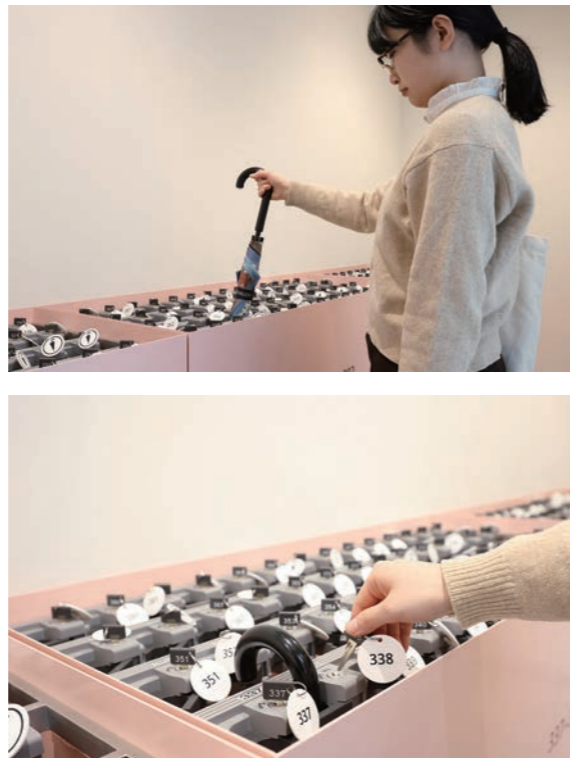
グランドギャラリー(拡大図)



- 入りくち でぐち 入り口と出口
 そうごうあんない 総合案内
 エスカレーター
 エレベーター
 た 杖
- トイレ
 バリアフリートイレ
 コインロッカー
 かね はら ばしょ お金を払う場所
 かいだん 階段
- のもの の ばしょ 飲み物を飲む場所
 チケットを見せる場所
 やす ばしょ 休む場所
 ばいてん 売店
 カフェ
- てんじしつ 展示室
 そうさく ばしょ 創作をする場所
 はなし き ばしょ 話を聞く場所
 ほん ばしょ 本がある場所



びじゅつかん いりぐち た
美術館への入口と かさ立て



びじゅつかん いりぐち よこなが たてもん ちゅうおう
美術館の入口は、横長の建物の中央にあります。
いりぐち
入口があるのは、ロビーフロア（2階）です。

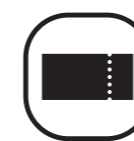


なが さくひん
長いかさは、作品にあたると危ないので 持ちこみません。
なが も
長いかさを 持っているときは
いりぐち た い
入口にあるかさ立てに かさを入れ、かぎをとります。
た
かさ立てのかぎは、なくさないように
なか
ポケットや かばんの中に しまいます。

う ば
チケット売り場



ロビーフロア（2階）^{かい}



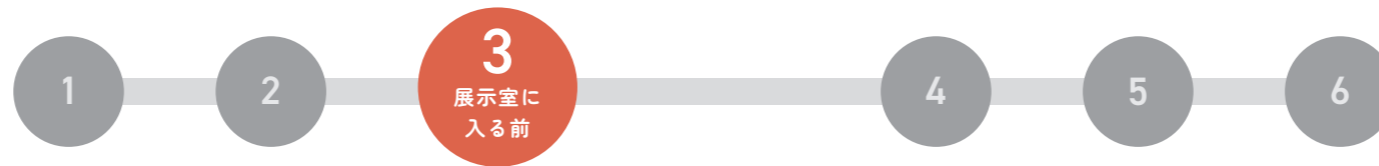
う ば み てんらんかい なまえ つた
売り場のスタッフに見たい展覧会の名前を伝えて
チケットを買って、受け取ります。



わたしが受け取ったチケットは、なくさないようにします。

こんざつ じぶん じゅんばん
混雑しているときは、自分の順番がくるまで
れつ なら ま
列に並んで待ちます。

むりょう み ばあい か
無料で見られる場合は、チケットを買わずに入ります。



そうごうあんない
総合案内（インフォメーション）



かい
(2階)



びじゅつかん
美術館には、わたしたちをむかえてくれる

さまざまなスタッフが はたら働いています。

スタッフは なふだつ名札を付けています。

かくにん確認したいことがあるときや、たすひつよう助けが必要なときは

そうごうあんない「総合案内」をはじめ

美術館にいるスタッフに たずねたずねることができます。

そうすれば、そのスタッフは よろこんでよろこんで こたえてこたえてくれます。

びじゅつかん はたら
美術館で働いている スタッフたち



そうごうあんない たてもものなか
総合案内など、建物の中にある スタッフ



けいび
警備スタッフ



げんかん
玄関ロビー（グランドギャラリー）





びじゅつかん なか はい
美術館の中に入ると、
てんじょう たか
天井が高い「グランドギャラリー」があります。

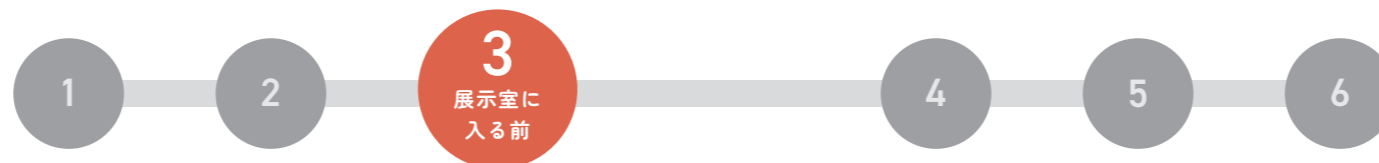
びじゅつかん なか
グランドギャラリーをはじめ 美術館の中は、
こんざつ
混雑していたり、さわがしいことも あります。
ひと
人にぶつかったり、転んだりすると ケガをするので
ゆっくりある
歩きます。

す かた
グランドギャラリーの過ごし方



 「グランドギャラリー」は だれでも無料で入れる場所です。
さくひん み すわ やす
作品を見たり いすに座って休んだり おしゃべりができます。

 はんえんけい
半円形のスペース「まるまるラウンジ」では、
の もの の
飲み物を 飲むことができます。



トイレ



トイレへの入口 (2階)



さまざまなトイレの中



トイレは、ロビーフロア (2階) の グランドギャラリーの両はしと
3階の展示室の近くに あります。



バリアフリートイレもあります。

かばんを あずけるときの (コインロッカー)



かばんは、ロビーフロア (2階) にあるコインロッカーに
あずけることができます。

コインロッカーを使えば、
かばんを持たないで 展示を見ることができます。

コインロッカーの中に かばんを置いたら、
100円玉を入れて かぎを閉めます。

かぎをぬき取り、なくさないように
ポケットや おさいふの中に しまいます。

100円玉は かぎを開けるときの もどってきます。



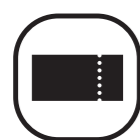
てんじしつ はいかた
展示室への入り方



きかくてんいりぐち かい
企画展入口 (2階)



てんいりぐち かい
コレクション展入口 (2階)



これから、作品を見に 展示室へ 行きましょう！

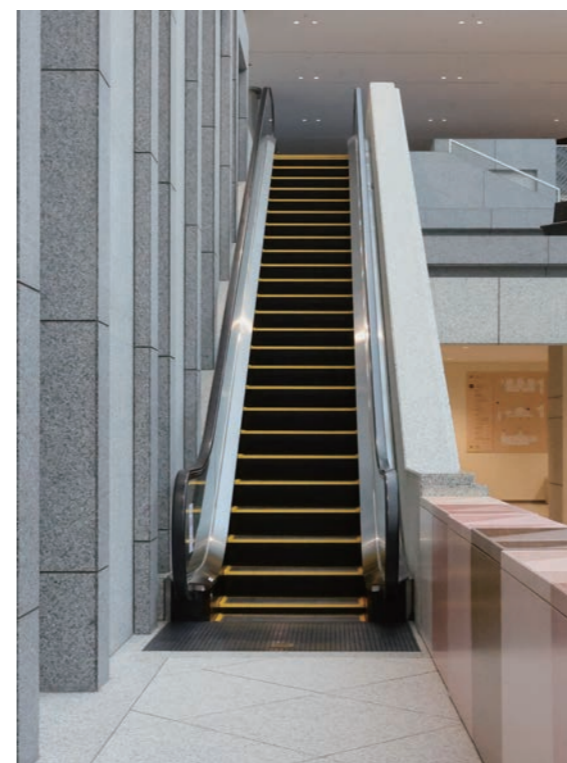
チケットが必要な展示室は、

「企画展」(3階)と「コレクション展」(3階)です。

それぞれ入口が 分かれています。

どちらの入口も ロビーフロア (2階) に あります。

てんじしつ い
展示室へ 行くとき



かい
エスカレーター (2階)



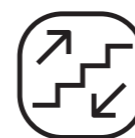
かい
エレベーター (2階)



「企画展」の展示室 (3階) へ 行くときは、
エスカレーターか エレベーターを使って 上ります。

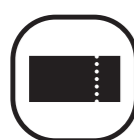


「コレクション展」の展示室 (3階) へ 行くときは
階段か エレベーターを使って 上ります。

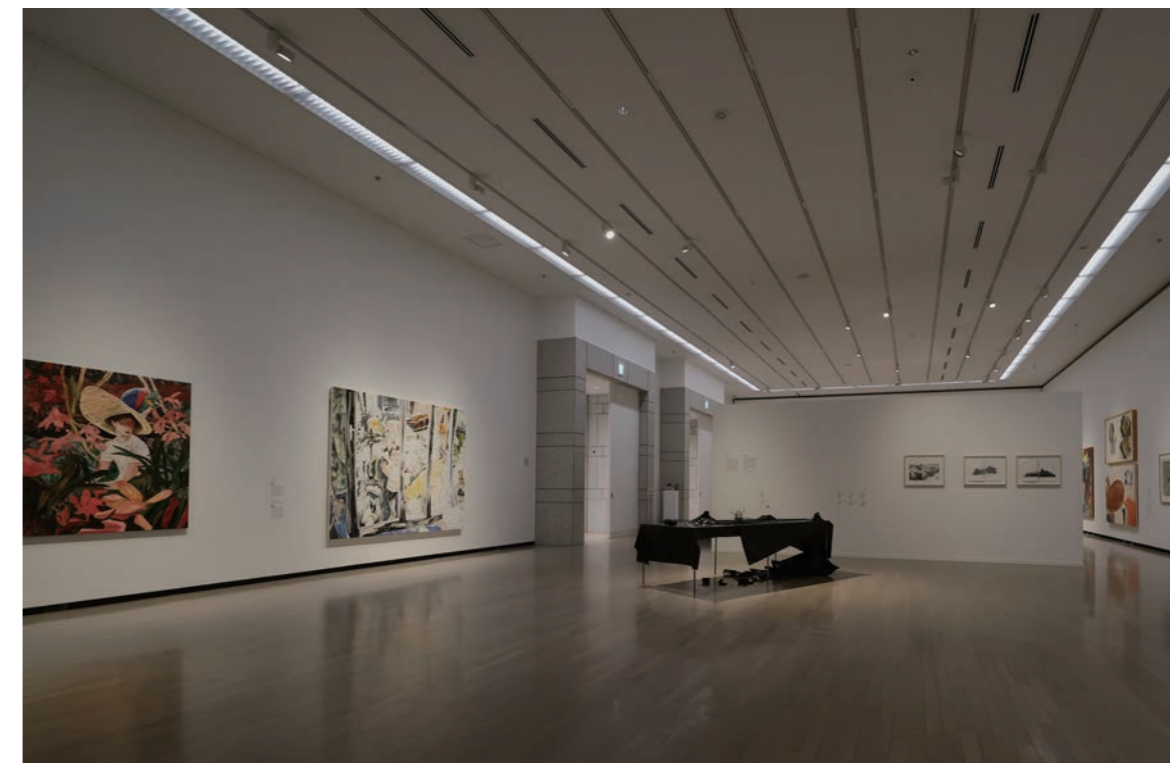




てんじしつ
展示室



それぞれの入口には、スタッフがいます。
 わたしは 展示室についての説明を スタッフから聞きます。
 スタッフにチケットなどを見せてから、入ります。



コレクション展 (3階)



展示室では、絵や彫刻などの たくさんの作品を
 見ることができます。
 わたしが 好きなタイミングで 気になった作品を見ます。

てんじしつ なか さくひん み
 展示室の中で 作品を見るとき



きかくてん かい
 企画展 (3階)



てんじしつ なか こんざつ
 展示室の中は、混雑していることも あります。

ひと さくひん ひかり
 また、人にも 作品にも ちょうどよい光にするために

すこ くら
 少し暗いところも あります。

わたしは まわりの人や作品などにぶつからないように

ゆっくり歩きます。

リュックサックを背負っている場合は、前にかかえて歩きます。



はな ちい こえ はな
 話すときは、小さな声で 話します。



さくひん たいせつ
 作品は、とても大切なものです。

よごれたり、こわれたりしないように 作品には触りません。

そのため、床に「さく」や「テープ」などの目印が あります。

写真のように 目印より うしろに下がって見ます。

さくひん はい
 作品が「ガラスのケース」に入っているときや

「台」の上に 置かれているときは、

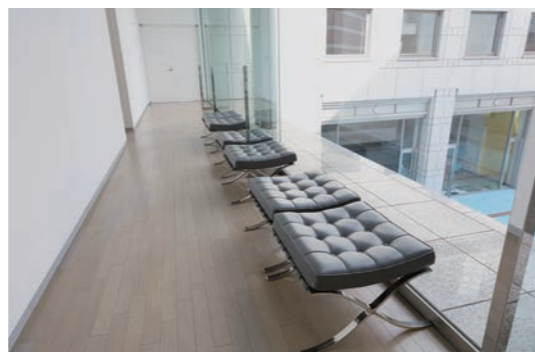
ガラスのケースや 台に触ったり、よりかかったりしないように見ます。



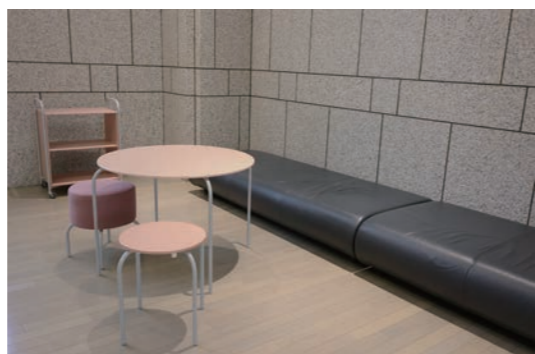
やす ばしよ
 休む場所



(2階)



(3階)



(3階)



てんじしつ さくひん み いがい
 展示室で作品を見ること以外にも
 びじゅつかん なか す かた
 美術館の中では、さまざまな過ごし方ができます。

やす
 休みたいときは、
 びじゅつかん
 美術館のさまざまなところにある いすに座って
 やす
 休むことができます。

こ やす ばしよ
 子どもが休む場所 (くつぬぎスポット)



(2階)



ロビーフロア (2階) にかい
 いる「くつぬぎスポット」は、
 こ やす ばしよ
 子どもが休むための場所です。



ちい お
 小さいテーブルといすが置いてあります。
 ほん よ
 本もあるので、読むことができます。
 ひと おとな はい
 おうちの人など、大人といっしょに 入ります。



ほん ばしょ びじゅつとしょしつ
本がある場所 (美術図書室)



かい
 (2階)



ロビーフロア (2階) にかいにある「美術図書室」は、
 てんらんかい さくひん ほん ばしょ
 展示会や 作品についての本が ある場所です。

き ほん よ
 気になった本を読むことができます。

よ ほん もと ばしょ かえ
 読んだ本は、元の場所に返します。



びじゅつとしょしつ よ ほん
 美術図書室で読むことができる本

カフェ



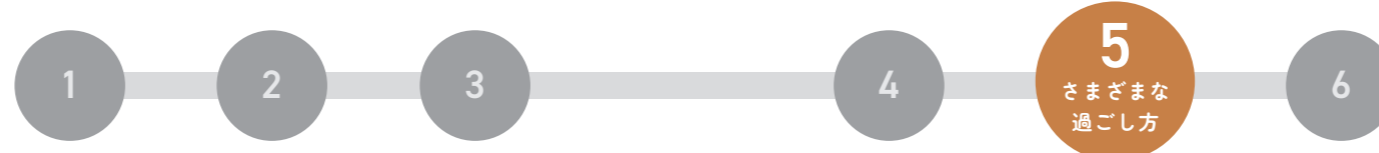
ば しゃみち じゅうばんかん よこはまびじゅつかん きっさしつ かい
 馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室 (2階)



ロビーフロア (2階) にかいにあるカフェは、
 しょくじ ちゃ の ほんよ
 食事をしたり、お茶やコーヒーを飲んだりする場所です。



おなかがすいたときは、
 たの
 カレーライスやサンドウィッチ、ケーキなどを 楽しむことができます。



ばいてん
売店 (ミュージアムショップ)



ミナト (かい)
MYNATE (2階)



ロビーフロア (2階) (かい) にある「ミュージアムショップ」は、
てらんかい さくひん
展覧会や 作品のポストカードや グッズなどを
う みせ
売っているお店です。

みやげ か
お土産を買うことができます。

そうさく ばしょ
創作をする場所 (アトリエ)



こ (かい)
子どものアトリエ (2階)



しみん (かい)
市民のアトリエ (3階)



ロビーフロア (2階) (かい) にある「子どものアトリエ」と
こ
3階にある「市民のアトリエ」では
かい しみん
絵を描いたり、工作をしたりするプログラムに
え か こうさく
参加することも できます。

さん か
プログラムに参加したい場合は、ウェブサイトから申しこみをします。
さん か ばあい もう



はなし き ばしょ
話を聞く場所（レクチャーホール）



(1階)



1階の「レクチャーホール」では、
 展示会や 美術についてのお話を 聞くことも あります。
 入口は ロビーフロア（2階）にあります。

でぐち
出口



出口は、ロビーフロア（2階）の入口と同じところです。

コインロッカーや かさ立てに
 かばんや かさをあずけている場合は、忘れないで持ち帰ります。

びじゅつかん たの
美術館を楽しむ



びじゅつかん いちにちじゅう ひと
美術館に 一日中 いる人もいれば、

みじか じかん す ひと
短い時間を過ごす人も います。

ひとり さくひん み ひと
また、一人で ひとつの作品をじっくりと見る人も、

だれかといっしょに さくひん み かん つた あ ひと
だれかといっしょに 作品を見て、感じたことを伝え合う人も います。

たの かた ひと
楽しみ方は、人それぞれです。

たいせつ
大切なのは、わたしのペースで

びじゅつかん じかん たの
美術館での時間を 楽しむことです。

ソーシャル ストーリー
Social Story とは？

「Social Story (ソーシャルストーリー)」とは、おもに発達障害 (神経発達症) の方と
その家族や関係者をサポートする 社会学習ツールです。社会的な状況や行為などを、
絵や写真を使い、やさしい文章で 説明します。当事者と関係者が、
そのときの状況や 活動内容などの情報を 互いに理解し、安心できる状態をつくることを
目的としています。

よこはまびじゅつかん はつたつしょうがい かた びじゅつかん ほうもん かた
横浜美術館では、発達障害の方をはじめ、美術館をはじめて訪問する方、
利用に不安を感じる方などが、どなたでも 横浜美術館を楽しみながら
過ごすことができるよう、当事者や 医療関係の専門家をはじめ、独立行政法人国立美術館
国立アートリサーチセンターの 協力を得ながら、このストーリーを作成しました。

ストーリーでは、写真や文章で 入館から退館までの様子が 説明されています。
建物の内外でのルールを 事前に知ること、見通しを持って、
安心して過ごす手助けとなるように 構成しています。

よこはまびじゅつかん
横浜美術館のウェブサイトで、ソーシャルストーリーのデータを公開しているの、
訪問前にお使いください。ご来館をお待ちしています。

ウェブサイト <https://yokohama.art.museum/>



ソーシャル ストーリー
Social Story はじめて 美術館に いきます。

よこはまびじゅつかん
横浜美術館

へん しゅう よこはまびじゅつかん きょういっくふきゅう
編集 横浜美術館 教育普及グループ
たん どう おかざき さとみ ほうち ことおり もり みねく
担当 岡崎 智美、發知 言織、森 未祈
かんしゅう せいさくきょうりょく どりつぎょうせいほうじんこくりつびじゅつかん こくりつ
監修・制作協力 独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

デザイン スタビーデザイン
しゃ しん しん つ ほ けんしゅう ひょうし かとう けん
写真 真 新津保 建秀 (表紙、p 9)、加藤 健 (p 34)、
ろくしま よしろう
六島 芳朗

はつ こう び
発行日 2025 年 3 月 25 日
はつ こう
発行 横浜美術館

じゅう しょ かながわけん よこはまし にしく
住 所 〒220-0012 神奈川県 横浜市 西区 みなとみらい3-4-1
でん わ
電 話 045-221-0300





この Social Story は、国立アトリサーチセンター提供によるデザイン・フォーマットを元に制作されました。
Copyright © 2025 Yokohama Museum of Art / National Center for Art Research, Japan

